

2026年2月1日～15日実施

野生動物への無自覚な餌付け ストップキャンペーン

©CrowLab

果実や野菜の残渣や
生ゴミがカラスの餌に

商品にしない果実も
摘果する



餌になりそうな果実や
野菜は土に埋めてカラスに
発見させない



野生動物にとっての餌資源を、餌の乏しい冬場に徹底的に管理し、
効率的に野生動物の個体数をコントロールすることが「野生動物への無自覚な餌付けストップキャンペン」の目的です。

本キャンペーンには、畑の農作物の残渣をきちんと処分する（少なくとも土に埋める）、庭にできた果実を摘果する、生ごみを徹底的に管理するといった、市民の皆様のご協力が必要です。

このような作業を日常的に行うのは大変ですが、餌の乏しい冬場に一斉に行えば1週間だけでも効果があると考えられ、農作物被害を軽減することに繋がります。

人間と野生動物の共生のため、皆様のご参加ご協力をお願いします。

問い合わせ先：佐渡市有害鳥獣被害対策協議会事務局

（佐渡市役所農林水産部農業政策課） 電話：63-5117